

まちづくり交付金 事後評価シート
下宮守地区

平成20年12月

岩手県遠野市

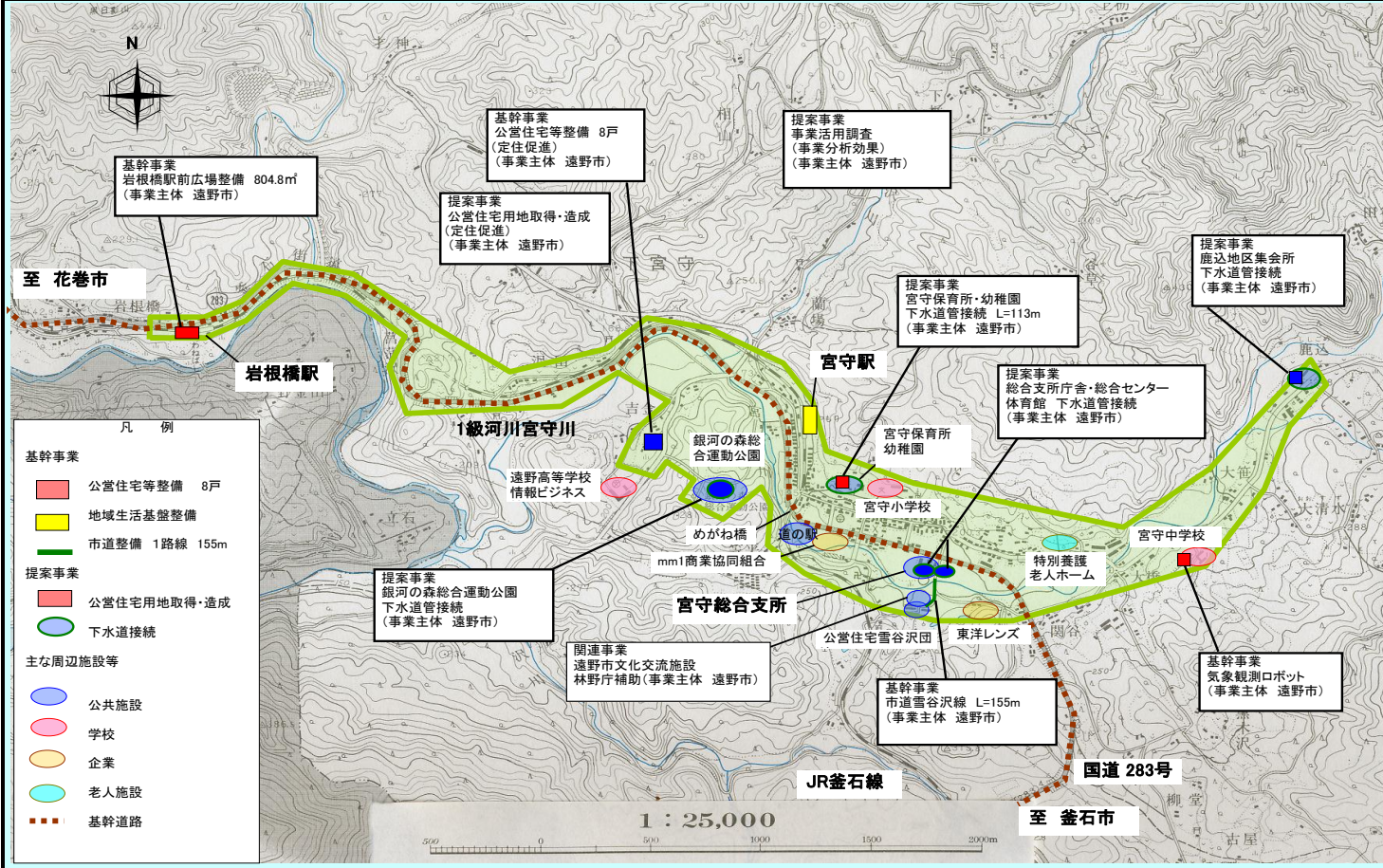
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県		市町村名	遠野市		地区名	下宮守地区			面積	176ha	
交付期間	平成17年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年4月～12月		交付対象事業費	208.6	国費率	40			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路整備、地域生活基盤施設、公営住宅等整備								
			提案事業	住宅団地用地取得・造成工事、下水道接続事業								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業		基幹事業	無し								
			提案事業	無し								
	新たに追加した事業		基幹事業	無し								
提案事業			無し									
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	指標1	居住人口の増加	人/年	1,810	1,900	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標2	地域内交流人口の活性化と住環境整備	人/年	98,495	100,000		91,230	×	あり	●	公営住宅8戸を整備したものの、自然減により、目標が達成できなかった。	無し
	指標3								なし	●	地区に隣接する情報ビジネス校の生徒数減などにより、JR宮守駅の乗車人員が減少したため、目標達成ができなかった。	無し
	指標4								あり			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	その他の数値指標1	新規公営住宅の入居戸数	戸	0		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標2	公営住宅入居者の満足度	%	29			8			●	公営住宅を整備し、居住環境の充実を図ることができた。	無し
	その他の数値指標3	公共施設の下水道接続施設数	箇所	0			71			●	居住環境について、新規公営住宅入居者の半数以上の方から指標達成に効果を得られた。	無し
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	無し		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	無し		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	自治会の新規の班として、新規入居者全世界が加入した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ 引き続き自治会活動を見守り、支援していく。				

様式2-2 地区の概要

下宮守地区(岩手県遠野市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	快適で安心な暮らしの環境づくり ・良好な居住環境の形成のもと居住人口の増加による過疎化の歯止めを図り、居住環境整備の促進を図る ・地域内外住民相互のふれあいによる地域内交流の活性化のための交通条件の整備	居住人口の増加	単位: 人/年	1,810	H16	1,900	H20	1,700
地域内交流の活性化と住環境整備		単位: 人/年	98,495	H16	100,000	H20	91,230	H20
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



岩根橋駅前広場整備



吉金住宅団地



雪谷沢線

まちの課題の変化	公営住宅整備、道路環境整備により、居住環境の向上が図られたが、自然減により、人口は減少した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	企業誘致等による、居住人口の増加及び文化交流施設におけるイベント開催等を通じた地域交流の活性化を図る。

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	岩手大学工学部 准教授 南正昭	第1回 平成20年11月13日 第2回 平成20年11月27日	建設課(まちづくり交付金主幹課)	まちづくり交付金評価委員会要綱	独自に設置
その他の委員	都市計画審議委員 松田 和子、大石 悦司、山賀 洋子 岩手県建築士会 菊池 公明				

審議事項※1	委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	
方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
成果の評価	・新規入居者への満足度調査の収集方法及び項目の質問に説明し、理解を得た。 ・現地視察の機会があり、公営住宅の入居者からの声も聴くことができ、評価にあたっての参考となったのでよかった。 ・居住人口の減少傾向はやむを得なく、人口流失の抑制に効果があったと判断する。 ・ハード事業のみではなく、ソフト事業も組み合わせることで進めていけば、更に効果があったのではないかと判断する。
実施過程の評価	・地域活動に積極的でない方もいるので、段階的な参加を促していただきたい。
効果発現要因の整理	・入居者の世帯構成が、若い家族構成であり、子育て世代の環境づくりが図られたのはよかった。 ・今までに行われた個別事業と違い、地域を一体的に整備でき効果的な事業といえる。
事後評価原案の公表の妥当性	・特になし。
その他	・今回の指標は達成が難しいものが含まれており、地域住民の意見を反映させた指標設定にしてはどうか。 ・公営住宅に住む人、特に障害者の意見を取り入れた住環境の整備をして欲しい。
事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	
今後のまちづくり方策の作成	・働く場の確保ではなく、「交通の利便性・アクセスの良さの向上を目指す」という表現にし、通勤範囲であることを強調した情報発信により、定住促進を図っていくべきである。 ・「自治会活動」や「地域活動」は堅い感じがするので、ソフトなネーミングを考えて欲しい。
フォローアップ	・特になし
その他	・特になし
今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第2回変更)

しもみやもりちく
下宮守地区

いわてけん とおのし
岩手県 遠野市

平成20年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岩手県	市町村名	とのおし 遠野市	地区名	しもみやもり 下宮守地区	面積	176 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 20 年度				

目標

- 快適で安心な暮らしの環境づくり
- 良好な居住環境の形成のもと居住人口の増加による過疎化の歯止めを図り、居住環境整備の促進を図る

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・本地区は岩手県の中央やや南、北上山地の南部に位置し、大麻部山(標高1,043m)を最高に標高700mを超える起伏のなだらかな北上山地に四方を囲まれた農山村である。人口は5,362人、世帯数1,625世帯、主な産業は、農林業で、米、畜産を主に林間作物のワサビ、ほうれん草等の生産がさかんな地域である。特にワサビは東北一の生産量があり、特産ワサビのエキスを使った地ビールは、世界初の味として全国からの注目を浴びている。国道107号、283号及び396号が東西に通過し、沿岸部と内陸部の分岐点が村内にあることから、交通の要衝として位置づけられている。また、JR釜石線が村の南部を通過し、東北新幹線により国内各地域と連絡されている。首都圏との時間的距離は、東北新幹線、東北縦貫自動車道、花巻空港により大幅に短縮されたことから、平成11年に年間33万人だった観光入込客数が、平成15年には年間49万人に増加している。旧村から県内の主要都市への所要時間は盛岡市に1時間(51km)、花巻市へ30分(24km)、北上市へ40分(31km)となっており、特に県央の中核都市である花巻市及び北上市等との人、物、情報の交流が急速に高まっている。

・また、旧村の平成16年9月末の高齢化率は34.3%であり、ゆとりと生き甲斐に満ちた高齢化社会に対応した介護老人保健施設整備のための建設補助、付帯道路の整備等の支援に取り組んでいる。

・近年は、出生率低下による少子化が進んでいる。ちなみに出生率は昭和55年が15.0%、出生数95人、平成15年は5.7%、31人と大きく落ち込んでいる。また、雇用の場が少ないことから若年層を中心に人口流出が進んでいる、人口に対する若年者比率でみると昭和55年が17.6%、平成12年が13.3%と大きく減少している。これは定住希望者が旧村企業はもとより、花巻、北上市等の工業団地等へ就労するものの、旧村の賃貸住宅が不足であることから、近隣市への賃貸住宅に居住している現状にある。

平成14年度に公営住宅10戸を追加整備し、公営住宅等は92戸となっており、本年度新規に公営住宅を2戸建設予定であるが、需要には追いつかない状況にある。民間賃貸住宅は、25戸経営されているものの、これらも空きのない状態にあること、また、新たな民間経営賃貸住宅への投資が望めないことから、共働き世帯など中堅所得者層が求める良質住宅の特定公共賃貸住宅を現在6戸整備しているが、新ファミリー世代層の需要が多いことから、住宅(公営)供給を積極的に行い、過疎化への歯止めと高齢化社会を支える若者を中心とした居住人口の増加を図る必要がある。

・遠野市との一市一村の合併による総合計画の中に情報網の整備事業を平成18年度計画している。宮守町にケーブルテレビのサブセンターを設置し、光ケーブル通信網による防災、交通、気象、イベント情報をケーブルテレビに提供するネットワークシステムを形成しなければならない。

・当該地区は、村の中心街を形成し、自然豊かな条件のもと、行政、医療、福祉、教育機関、JR駅等主要な公共施設、交通施設が集中している地区でもあり、花巻市へ30分、北上市へ40分と通勤圏内であり、若年労働者をはじめ居住するには魅力的な条件となっている。

・当該地区は、旧村の総合発展計画である「千年の森」創り行動計画のむらづくりの快適・安全な生活環境の創出の中で既存団地の中に公営住宅を増設整備することとなっている。さらには公共施設等の下水道接続による居住環境の整備も位置づけられており、行動計画によるむらづくり具現化に取り組むものである。

課題

- ①居住人口増加のために公営住宅吉金団地を整備済みであり、また今回同団地に8戸を整備予定であることから、居住待機者の環境整備を図る必要がある。
- ②気象観測設備による防災、交通情報のシステム整備が求められている。
- ③公共施設のトイレ水洗化及び下水道接続による居住環境の整備により、中心市街地の環境浄化を整える必要がある。
- ④岩根橋駅への進入路が鋭角となっており一度で進入することができず、駅利用者は不便をきたしており危険な状態となっているため、利用し易く安全に進入出来るよう整備する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ①村内の経済活性化に資するため企業誘致を行い、従業員の生活の場を確保する観点からも、住宅地の整備を行い、居住環境を整えていく必要がある。
- ②中心市街地の商業活動の活性化のため、駅前広場等をはじめとした公共交通機関に付帯する施設を、利用し易い施設に整備し、利用者の増加と活性化を目指す。
- ③公共施設(総合センター、文化交流施設、運動公園等)へのアクセス及び利用環境の向上により、ふれあい交流の推進とコミュニティ活性化を目指す。
- ④情報通信網の整備を目指す。

目標を定量化する指標

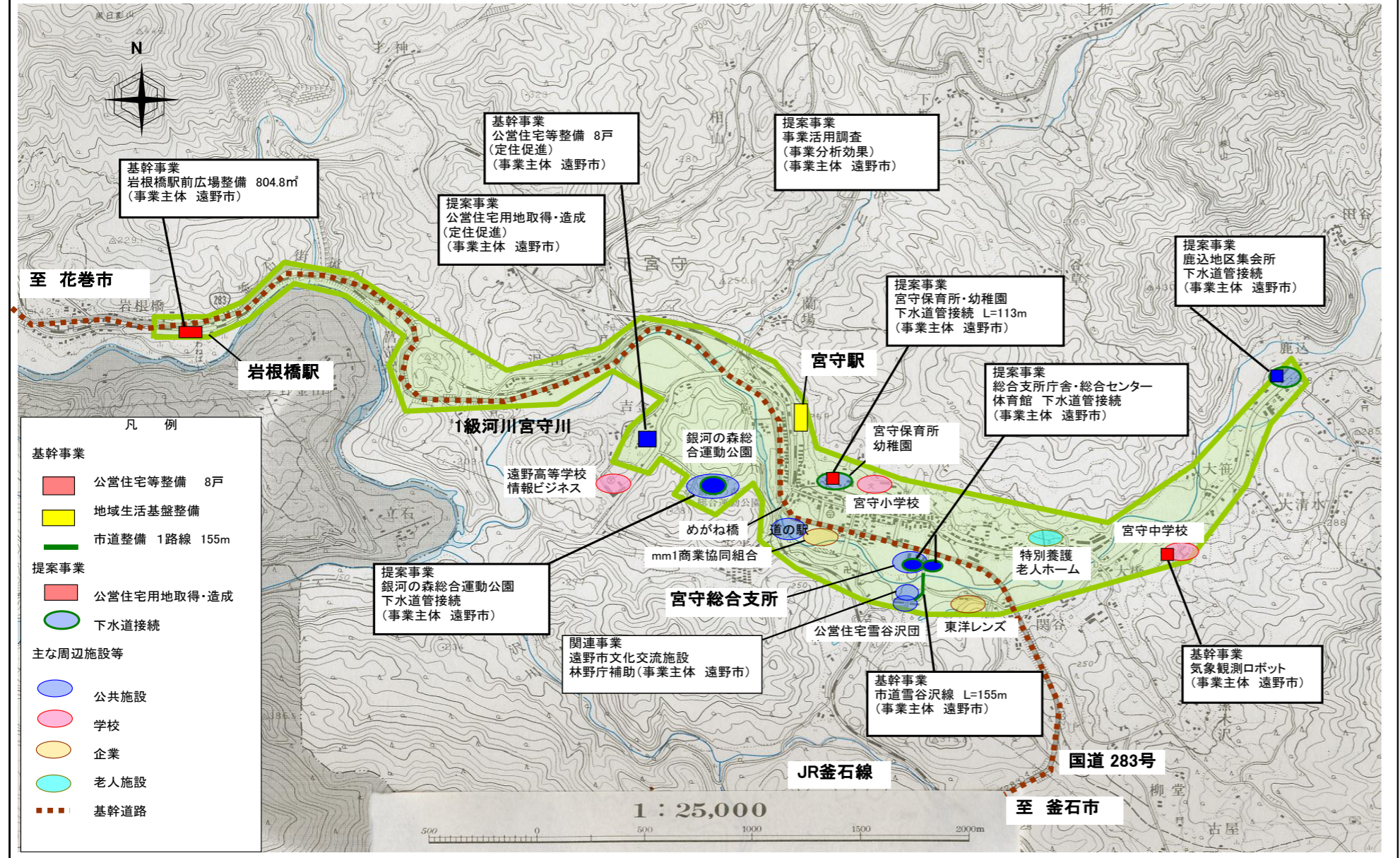
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
居住人口の増加	人/年	地域(下宮守)人口	良好な居住環境の形成により計画期間内に増加する地域内人口	1,810	1,900
地域内交流の活性化と住環境整備	人/年	地域内外住民との交流人口及び公共施設利用者人口(年間延べ)	文化交流施設の活用促進と駅前広場等整備による地域内外交流人口及び公共施設の下水道整備による利用者人口、地域防災情報の提供	98,495	100,000

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(定住化人口の増による過疎化の歯止めと環境の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年勤労者及び住宅困窮者の定住と村の活性化のため、公営住宅を整備する。 ・銀河の森総合運動公園、コミュニティ施設(総合センター等)の下水道配管接続により環境整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅等整備事業(基幹事業):旧村営住宅建設8戸 ・地域創造支援事業(提案事業):旧村営住宅用地造成 1,482㎡ ・地域創造支援事業(提案事業):下水道接続事業
<p>整備方針2(地域内外住民相互のふれあいによる地域内交流の活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学者、通院者等の利便向上と交通対策のため、駅前広場等を整備する。 ・文化交流施設利用者の利便向上と交流人口増加を図るため、村道を拡幅整備する。 ・防災情報の提供のため、気象観測設備を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業(基幹事業):旧村道改良舗装L= 155m ・地域生活基盤事業(基幹事業):駅前広場等整備事業 ・地域生活基盤整備事業(基幹事業):地域防災施設事業
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり 快適な環境の維持、地域住民とのふれあいを深めていくと共に、良好で安心して暮らせる地域づくりを図る。 ○交付期間中の計画の管理について 目標の達成に向けて、地元自治会及び関係者等と協議しながら進める。 	

下宮守地区(岩手県宮守村) 整備方針概要図

目標	大目標: 快適で安心な暮らしの環境づくり 目標1: 良好な居住環境の形成のもと居住人口の増加による過疎化の歯止め 目標2: 地域内外住民相互のふれあいによる地域内交流の活性化のための交通条件の整備	代表的な指標	居住人口の増加 (人)	1,810 (16年度) → 1,900 (20年度)
			地域内交流の活性化と住環境整備 (人)	98,495 (16年度) → 100,000 (20年度)



鹿込集会所



雪谷沢線



気象観測ポイント



岩根橋駅



吉金住宅



体育館